

## 第2学年 外国語科（英語）学習指導案

平成22年9月22日

授業者 大庭 匡史

ALT Kevin Royo

### 1 単元名 NEW HORIZON English Course Book 2 Unit 5 A Park or a Parking Area

#### 2 単元の目標

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

- ・積極的に自己表現を行う。

(表現の能力)

- ・接続詞 **that**、**because** を用いて自分の意見を書く。
- ・接続詞 **if**、**when** を用いて自他のことについて話す。
- ・英文を適切な音量で正しい発音、アクセント等を用いて音読する。

(理解の能力)

- ・接続詞 **if**、**that**、**when**、**because** を用いた文を読み取り理解する。
- ・吉賀町の抱える問題点や対策などについて読み取り考える。

(言語や文化についての知識・理解)

- ・接続詞 **if**、**that**、**when**、**because** を用いた文の構造を理解する。

#### 3 学習の基盤 (生徒観は省略)

(単元・教材観)

本単元はマイクの友達の由香から妹の久美が事故にあったという知らせが届き、その事故の原因や若葉市が抱える問題、それについての意見を英字新聞の記事で読むという設定である。文法事項としては **Starting Out** では **if**、**Dialog** では **that**、**Reading for Communication** では **when** と **because** が取り上げられている。このように接続詞を用いた情報のやり取りに焦点が当てられていることから、特に **I think (that)~** や **Because ~** を使って身近な事柄について自分の意見やその理由について言わせるなどのコミュニケーション活動を行わせるのに適した単元であるといえる。内容としては自分達の地域が抱える問題について考えさせていくよい機会ともなると考えられる。

(指導観)

本単元の学習を通して接続詞 **if**、**that**、**when**、**because** の用法や意味を理解し運用できる力を養いたい。特に **I think (that)~** や **Because ~** については生徒の身近な話題について意見を言わせたり、グループ内での音読評価の際に使用させたりすることにより表現の定着を図らせたい。**if** や **when** については占い活動や生徒に子供のころを振り返らせる活動から特に語順に注意したワークシート練習をさせることで定着を図らせる。記事についての音読活動はグループ活動として取り入れ、適切な音量や正しい発音、アクセ

ント等を正確に行えるようにさせるとともにその後の個別音読テストへつなげていく。  
英文を正確に書くことができにくいため、コミュニケーション活動での評価結果についてはワークシートに書いてまとめさせ提出させる。

#### 4 単元の評価規準

ア、コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・積極的に自己表現を行っている。(話・取)

イ、表現の能力

①接続詞 **that**、**because** を用いて自分の意見を書くことができる。(書・正)

②接続詞 **if**、**when** を用いて自他のことについて話すことができる。(話・正)

③英文を適切な音量で正しい発音、アクセント等を用いて音読することができる。  
(読・正)

ウ、理解の能力

- ・吉賀町の抱える問題点や対策などについて読み取り考えることができる。  
(読・正)

エ、言語や文化についての知識・理解

- ・接続詞 **if**、**that**、**when**、**because** を用いた文の構造を理解している。(書・言)

## 5 単元の指導計画及び評価計画（全9時間）

時間	主な学習活動	評価規準	評価の方法
第一次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ If～. の導入（オーラルイントロダクション）、口頭練習</li> <li>・ 自己表現活動</li> <li>・ 教科書 p.50（Starting Out）の読解</li> <li>・ 新出単語の確認、内容理解、音読練習</li> </ul>	イの②	観察、ワークシート
第二次 (2時間) 本時 1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書 p.50（Starting Out）の復習</li> <li>・ that～. の導入（オーラルイントロダクション）、口頭練習</li> <li>・ 音読発表、評価活動（グループワーク）</li> <li>・ コミュニケーション活動</li> <li>・ まとめ活動</li> <li>・ 個別音読テスト</li> <li>・ 教科書 p.51（Dialog）の読解</li> <li>・ 新出単語の確認、内容理解、音読練習</li> <li>・ If と that の文構造理解の確認</li> </ul>	ア  イの③  エ	観察、ワークシート  個別テスト  ワークシート
第三次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ that～. の復習（ペアワーク）</li> <li>・ When～. の導入（オーラルイントロダクション）、口頭練習</li> <li>・ 自己表現活動</li> <li>・ 教科書 p.52（Reading for Communication）の読解</li> <li>・ 新出単語の確認、内容理解、音読練習</li> </ul>	イの②	観察
第四次 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ When～. の復習（グループワーク）</li> <li>・ 教科書 p.52（Reading for Communication）の復習</li> <li>・ Because～. の導入（オーラルイントロダクション）、口頭練習</li> <li>・ 音読発表、評価活動（グループワーク）</li> <li>・ コミュニケーション活動</li> <li>・ まとめ活動</li> <li>・ 個別音読テスト</li> <li>・ 教科書 p.53（Reading for Communication）の読解</li> <li>・ 新出単語の確認、内容理解、音読練習</li> <li>・ 吉賀町の問題点や対策についての英文読解 意見を考える</li> <li>・ When と Because の文構造理解の確認</li> </ul>	ア  イの① イの③  ウ  エ	観察、ワークシート ワークシート 個別テスト  ワークシート  ワークシート

## 6 本時の学習

○目標 ・接続詞 **that** を含んだ文を使って積極的に自分の意見を伝える

○展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
<p>1、<u>前時の復習</u> 教科書 p.50 の復習をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォームアップも兼ねて行う</li> <li>・発音、アクセントについての細かい指示を出す</li> </ul>	
<p>2、<u>接続詞 that の導入、口頭練習</u> 教師の対話を聞く</p> <p>基本文練習をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の音読を ALT が評価する場面を見させて導入から練習へとスムーズに移行させる</li> <li>・相互評価で使うパターンを練習させる</li> </ul>	
<p>3、<u>コミュニケーション活動①</u> 自分の考えを伝える活動をする * 4 (5) 人組でグループ音読活動をさせ相互評価を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終わった後は拍手をさせる</li> <li>・良い面を見つけるようにさせる</li> <li>・評価シート結果を見ながら自分の意見が言えるようにさせる</li> </ul>	
<p>4、<u>コミュニケーション活動②</u> 自分の考えを伝えたり質問したりする活動をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を出しやすいように例を示して考えさせる</li> <li>・会話の基本形を覚えさせる</li> <li>・アイコンタクトをとりながら会話をさせるようにする</li> </ul>	評価規準 ア(話・取)
<p>5、<u>まとめ活動</u> 活動結果を報告する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードを使って提示し報告させる</li> </ul>	

### ○本時の具体的な評価

・接続詞 **that** を含んだ文を使って積極的に自分の意見を伝えようとしていたか。

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒への具体的な支援
評 価	クラスの全員またはほとんどの人と対話をして回答を得ている	クラスの半数以上の人は対話をして回答を得ている	I think that ~ .や What do you think ? の言い方を補助して対話を促していく

## 自分の意見を書こう

--

### 基本会話

A : I think English is important. What do you think ?

B : I think so , too. / I don't think so.

NAME	YES	NO

